

## 選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)石油天然 ガス・金属鉱 物資源機構	理事(金属・ 石炭事業支 援担当)	欠員				安達 直隆	57	(独)石油天然ガス・金 属鉱物資源機構希少 金属備蓄部長	応募総数 10名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構役員名簿新旧対照表

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	河野 博文	68	H20.4.1	4	H28.2.28	経済産業省資源エネルギー庁長官 JFEスチール(株)専務執行役員					
副理事長	黒木 啓介	65	H25.6.10	4	H28.2.28	新日鐵住金(株)常任顧問					
理事	藤野 真司	52	H26.4.1	2	H28.3.31	経済産業省商務情報政策局サービス産業課長 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構企画調整部長 【役員出向】					
理事	明吉 研二	56	H25.5.1	2	H28.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構事業推進部長					
理事	市川 真	57	H26.3.1	2	H28.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構事業推進部長					
理事	辻本 崇史	61	H26.3.1	2	H28.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構金属資源開発本部特命参与(併)金属資源技術部長					
理事	渡辺 正俊	59	H26.4.1	2	H28.3.31	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構石油備蓄部長					
公募 理事	欠員(H26.3.31退任)						安達 直隆	57	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構希少金属備蓄部長	理事長	H26.7.1
監事	窪田 寛	61	H23.7.1	2	H28.2.29	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構事業推進部担当審議役					
監事	肥後 治樹	55	H26.4.1	2	H28.3.31	国税庁税務大学校教頭 【役員出向】					

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構  
理事（金属・石炭事業支援担当）選任理由

本法人の使命は、我が国の資源・エネルギー安定供給の確保のため、資源・エネルギーの探鉱・開発や備蓄・鉱害防止等、資源に関わる業務を実施することにある。

本ポストには、金属鉱害の防止、金属資源及び石炭の開発へのリスクマネーの供給、石炭の地質構造調査、地元対策も含む石炭鉱害対策業務等を担当し、法人の目標達成のため、担当業務を公平性・中立性を担保して的確に遂行できる十分な能力を有し、かつ国内外の関係団体・機関との間の調整を円滑に行うことが求められる。

本件公募に対しては、10人の応募があり、選考委員会による書類選考で4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接（4人中1人は辞退）を行い、最も高い評価を得た1人を任命権者に提示し、これに基づき、任命権者が安達直隆氏を選任したところである。

任命理由は、35年間に亘る鉱物資源、石炭、石油・天然ガスの資源開発、金属鉱業・石炭に係る鉱害防止等に関する豊富な経験を有し、公平性・中立性の確保についても、これまでの独立行政法人等での十分な勤務経験・実績も有り、さらに、組織管理においては、約200人規模の事業本部及び海外10事務所、国内鉱害防止4支所9事業所の統括業務担当の経験・実績などにより、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。

## 選考委員会の属性について

### 【経済産業省】

- ・ 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 会社役員	2名
・ 大学教授	2名
・ その他	1名
<hr/>	
計	5名